



鈴鹿市立明生小学校

明生の旗高く

＜ 学校教育目標 ＞

地域とともに
明るく元気に生きる
明生の子

■ ひらた の ちゅうがっこうせいと しょくばたいけん 平田野中学校生徒の職場体験

11月6日から8日の3日間、平田野中学校の生徒4名が職場体験に明生小学校へ来てくれました。初めの2日間は、修学旅行と重なったため、その様子を見ることができませんでしたが、修学旅行から戻ると「中学生、とっても頑張っています。子どもたちからも評判いいです。」という声が聞かれ、最終日の様子を見るのがとても楽しみになりました。

1年生の「手洗い指導」では指導する養護教諭の補助をしてくれました。手洗い場での子どもたちの様子を見守ったり、声かけをしたり、手洗いもしました。結果は、「中学生のお兄ちゃんでも隅々まで綺麗に洗うのは難しいんだね。」ということでした。

休み時間には運動場で遊び相手になってくれました。1年生だけでなく他の学年も一緒になって遊んでもらっていました。

また、なかよし学級が大根の種まきをするので、その手伝いもしてもらいました。放課後は授業以外の学校の用事を手伝ってもらい、先生という仕事は授業だけではないことも経験できたと思います。この4名の中から将来、教員として育てられる子が出てくれればうれしいです。



■ めいせい 明生タイム

11月13日の明生タイムは全校で「鬼ごっこ」をしました。全校と言っても1年生から6年生までが同時に鬼ごっこをするのは危険なので、低・中・高学年別に分かれて行いました。鬼は抽選で「出席番号に9がある人」や「縦割り班の○班と○班」などと決めました。

低学年の子どもたちは一生懸命逃げ回っていて、とても微笑ましかったです。中学年は、動きが機敏で周りをよく見て逃げていました。高学年は動きに迫力があり、最後には全員が捕まり鬼になってしまいました。



■ たいいくかんしゅくはくたいけん かいしゅさい 体育館宿泊体験（おやじの会主催）

11月16日(土)17日(日)にかけておやじの会の主催による体育館での宿泊体験が実施されました。



イベントの主旨としては楽しい活動だけではなく、ダンボールハウスや非常食実食で震災等による避難所生活を体験するというのもありました。

ダンボールでベッドを作り、アルファ米とレトルトカレーで晩御飯。お楽しみ行事としては夜の学校探検



がありました。翌朝、子どもたちに聞いたところ「ダンボールは硬くてあまり寝られなかった。」「隣の声でなかなか寝られなかった」などの声が聞かれました。実際の避難所暮らしとなると、パーティー

ションで区切っただけでプライバシーが十分確保されない、寝心地の悪い状況で長期間過ごすことになるのですね。

翌日はラジオ体操から始まり朝食・片付け・清掃をしてドッジビー&ドッジボール大会で楽しんでから解散となりました。

おやじの会の皆様、貴重な経験の機会を設けていただきありがとうございました。



ひらたのちゅうこうくどうとうがっこううんえいきょうぎかい 平田野中校区合同学校運営協議会

11月19日(火))に平田野中学校区の学校運営協議会委員が集まり、合同で運営協議会が実施されました。初めに中学校の授業参観をし、教育委員会指導課の担当者から「地域で育む非認知能力の育成について」という演題での話を聞きました。その後、5つのグループに分かれて演題について討議していただきました。・子どもから返ってこないとしても辛抱強く大人から挨拶していくことが大切・まちづくり等の行事においても子どもが活躍し自己肯定感を高められるような機会をどのように作っていくか。・各学校の活動を知ることができた。・このような地域全体で情報を共有するような機会を作っていってほしい。などの意見交流がなされました。



3年生 美味しいお茶の入れ方



日本茶インストラクターの佐野智和さんを講師に3年生が鈴鹿市の特産品である「かぶせ茶」の入れ方の学習をしました。お茶と聞いて思い浮かべるのは「紅茶・ウーロン茶・緑茶」だと思いますが、元になる茶葉はどれも同じです。収穫後の処理の違いで分かります。

緑茶の渋みであるカテキンは80℃以上で多く出ます。旨味であるテアニンは低い温度でも出ます。そこで、沸騰したお湯を一度、湯飲み茶碗に入れてから、茶葉を入れた急須に注ぐことで70~60℃くらいの温度でお茶を入れることができます。この方法で入れたお茶はほのかに甘みを感じました。また、二煎目は熱いお湯で入れて飲み比べたところ、二煎目は渋みを強く感じました。

